

## 挨拶

# 就任挨拶

副会長

田中信義



ただいまご紹介いただきました田中でございます。

今回、非常に伝統のある日本知的財産協会の副会長を拝命いたしまして、大変名誉なことであると思えますとともに、責任の重さを痛感しております。

一昨日、皆様もご存じのように、発明協会の100周年記念式典がございまして、天皇、皇后両陛下ご臨席のもと、大変盛大に行われました。この発明協会の発足したのが明治37年ということで、この時代にも非常に優れた方々がおられて、科学技術の振興と発明の奨励の施策が行

われ制度も作られたことに、感慨を新たに致しました。

ちょうど100年経ちまして、改めて知財立国ということで、諸施策が急ピッチで展開されようという時代に、私どもは遭遇しております。職務発明とか、国際標準と知的財産とか、あるいは、模倣品問題とか、皆さんも最近是非常に忙しいのではないかと思います。

私も5年前にキヤノンの知的財産法務本部を担当致しまして、当時はこの知財協にまいりまして、いかにして経営層に知的財産が重要かということを知らしめるかというのが、非常に大きな課題であったと覚えております。しかし現在は、まさに経営の非常に大事な一角を占める知的財産活動になってきていると思います。むしろ、5、6年前のあまり騒がれないのんびりしていた時代のほうが良かったと思っておられる方もおられるのではないかと思います。時代というのは後戻りしませんので、我々に課された責務にきちっと対処していかなければならないと思います。

私自身も、知的財産戦略専門調査会や特許制度小委員会で制度づくりに一部参画しておりますが、その中で感じますのは、私ども企業に属して知的財産活動を行っている者が、企業における知的財産の実態、発明の実態、評価の実態、等々について、外部に対して、的確にきちっとした形で発信していく必要があるということです。そういう意味におきましても、企業の知的財産関係者が集まっておりますこの協会の責務というのは、大変重要になってきているのではないかと感じております。

副会長という職を拝命いたしまして、これから皆さんのご協力を得ながら、自分自身の責任を全うしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。